

新たなコミュニティがつなぐまちづくり



■事業が目指すところ

2023年、芳田自治協議会が空き家となっていた旧公民館の利活用のため、田舎お試し移住や、農村体験の宿泊施設との活用と日常的な地域交流施設にするため、多様な関わりや、地域のにぎわいづくりの場として活用していきたいとの考えから、当法人と連携することになった。当法人が大切にしている地域活動の支援として、地域にとっては人が集う場所があり、話ができる場所、話を聞いてくれる場所があるだけで安心感があり、暮らしはより安全になると考えている。地域の中に誰でも参加できる場所ができ、誰でもきっかけをつくれる場所ができる。お互いの関係を築きながら、地域住民と一緒にコミュニティ作り上げていく

■事業内容

【旧水尾町公民館へ行こう】

- おいしい公民館の日
毎週金曜日 パン屋さん、焼き菓子の販売
月1回 レモネードスタンド、ケーキ、お弁当等の販売
年3回 ポン菓子実演販売
- みんなの図書館
西脇市図書館より毎月30冊～50冊を用意
- 4月6日オープニングイベント
・6月9日全国一斉レモネードスタンド
・6月29日 ぽかぽか公民館
・7月20日めだかすくい
・9月22日レモネードスタンド
・11月24日オータムマルシェ
- 公民館の音楽会
12月22日 開催
- 絵本の読み聞かせ
6月9日 開催
- こども食堂 「あしたのてとて食堂」
毎月第2土曜日開催
- 毎月広報誌の発行
芳田地区全戸配布



■成果と課題

旧水尾町公民館の利活用は、関係人口の創出だけでなく、地域住民がつながる場を他の団体と連携しながら作っていくモデルになると考えている。また、10月より移動販売車の販売場所になったことで、地域で声をかけあい、お互いに顔が見える関係をつくり、日常会話ができる場所になっている。小さなまちが抱える課題を解決できるコミュニティづくりを目指し、芳田自治協議会と連携しながら、多様な人が繋がり、それぞれの役割を活かした事業が展開できた。

また、市民活動をする団体にとって活動する場が出来たことで、それぞれが繋がり工夫を凝らした活動を行うことが出来た。自分たちの活動だけでなく地域と関わることでまちづくりに参加するきっかけとなり、地域とゆるやかに繋がっている。

これからも、市内各地域に小さなコミュニティができること、その役割の必要性を届けていきたい。